

テストの活用法!

テストは結果そのものが大切なではありません。自分の理解度をはかる一番のツールとして、終わってからどう活用するかがカギです。

間違った箇所を見直して、なぜ間違えたのかを知り、繰り返し練習し、2度と同じ間違いをしないようにすることが大切です。

また、見直す際、特に暗記が中心になってくる理科・社会は、教科書でその問題の箇所を見直すと、その箇所の授業の記憶がよみがえり、覚え直すことが容易になります。

算数(数学)などの計算問題では、間違えた問題を、見直しもせずに、もう一度やり直しても、また同じ間違いをしてしまいます。これでは時間の無駄です。

出来る子は、必ずこの見直しをして間違えた原因を突き止めています。また、間違った問題だけをノートに書き写し、自分の苦手な箇所だけを集めたオリジナルの難問集を作り、もう一度やっている子もいます。

小学生のうちは、保護者の方が主導で行う必要があると思います。

中学生のみなさんの中には、よく、学校の宿題になっているワークを2回ヤッタ、3回ヤッタという子がいます。このような子は、ただ書くことに専念していて、いざ問題としてやってみても、出来ない子が多いです。

本来ヤッタというのは、「理解できた! 自力で問題が解けた!」ということです。出来た問題を繰り返しても無駄です。ワークは宿題だから、または、先生のためにやるのではありません。自分の点数を上げるためにやるのです。

2回、3回は、自力で問題が解けるようにするための練習です。1回目で出来なかった問題は答えをみて考え方を直し、答えを見ずに自力で出来るようになるまで繰り返す。結果的に2回、3回と繰り返すことになる。これが、正しい勉強法です。

出来る問題を増やすことが正しい勉強法です。

公立高校入試まで約4か月の中3受験生は、特にこのことを念頭に受験勉強をしてほしいです。

11月の予定

1日・8日・15日・22日・29日(土) 中3生入試対策講座

8日・9日(土・日) 境川中学校定期テスト対策

15日・16日(土・日) 岐大附属・岐南中学校定期テスト対策

24日(月) 振替休日 授業を行います。

毎年、入試の後、塾生に体験記を書いてもらっています。今回は、「後悔したこと・やつておけば良かったこと」についての作文を載せました。参考にしてください。

高校受験 合格体験記

やつて後悔したこと

私が、やつておけば良かったと後悔したことを、お伝えします。

毎日の勉強を大切にすること

毎日の勉強は宿題です。「やつておけば良かった」と思つてしまふが、その「当たり前」を私はしませんでした。

また、その日のうちに復習あることの大切です。寝る前に教科書やノートをパラパラ見て「今日の授業ではこんなことをやつた」と振り返るだけでも効果はあります。そのためにも、授業中は絶対居眠りしないことです。学校や塾の授業を大切にしてください。

毎日コツコツと勉強していれば、定期テストや単元テストに向かって特別な勉強をする必要はありません。

受験勉強としては、塾の入試対策講座で行う問題を丁寧に解き、どうしてもわからない問題は、友達や先生に聞いて、考え方を納得し、もう一度解いてみることです。

もう一つ合格の秘訣がありました。それは「耳に高め合間の仲間の存在」です。

一緒に勉強する仲間がいなければ、私は全く勉強しなかったかもしれません。

みなさんは、毎日の勉強と「競い合える仲間」を大切にしてください。「邊を舐めあう友達」ではあります。

これらの、やつたほうが良かったことを、しっかりとやつていれば、自信を持つて合格発表を見に行けたと思います。そして、もう一つ高い目標を持って、受験勉強が出来たと思います。

後悔したこと

僕は一年や二年の時、授業を全く聞いていないくて、三年の終わる頃からまじめに取り組めばいいと思っていました。それで、学校ではふだり、遊んだりすることが多かったです。

だから、本格的に受験勉強を始めたのは、ほかの人よりずい分遅かったです。秋のころから、みんなが入試のことや高校のことを話したり、また、受験勉強を始めたことが多かったです。

冬の頃から、みんなと同じように勉強を始めようとしましたが、今まで勉強をしてこなかったので、集中が続かず、他にいきがることも多かったです。

一年生の時から、せめて一年生からでも少しそつ勉強していれば、みんなと同じように、勉強に取り組む姿勢、集中力も身に付いたのではないかと後悔しています。

僕の勉強法は、たくさんやるじや、長時間ダラダラやるじやしないで、出来る問題を確実に一つずつ増やしていくじやうやう方です。

それで、ゆっくりでもいいので、基本的なことを身に付けてから、入試問題のよつな難しい問題に取り組みました。

出来なかった問題は、「納得できるまで解説を読むように」と塾の先生に言われたのでそのようにしました。それでもわからなかつた問題は先生や友達に聞きました。

わからない問題があつたら、「まあ、いいや、出来ないのは自分だけじゃないから」となることが多かつた自分が、「それでは、いつになつても点数が上がらない!」と先生に言われ、「まったく、そのとおり!」だと気付きました。

勉強法のことは前からいろいろ言われていましたが、その時、「これが、正しい勉強法か!」とわかりました。

毎年、誰から聞いていましたが、「一年の時からやつておけば良かった」という意味がこの時わからました。

あたりまえなことを最低限でもいいのでコツコツと積み重ねていいくじを頑張つてください。そうすれば自分が行きたい高校に合格します。

11月霜月
November

〒501-6051
岐阜県羽島郡笠松町上本町三十六
啓伸塾

発行者 福井 伸次

啓伸塾便り